

# わくわく

向東小学校  
1年生だより  
平成29年 7月20日  
NO. 37

## 「1学期が終わりました。」ご協力ありがとうございました。

### 保護者の皆様へ

入学式が昨日の様に思い出される中、長いようでも過ぎてしまえば「あっ」という間の1学期でした。保護者の皆様にはこの1学期に数々のご協力をいただきありがとうございました。おかげで子ども達は、大きく成長したと感じています。子ども達は、この1学期、見ても楽しそうに生活していたと思います。さらに、担任の私達も充実した日々を過ごすことができました。

たくさんのご協力、本当にありがとうございました。この42日間の長い夏休みが、ご家庭でもぜひ充実した日々となるようにお祈りいたします。



### 「あゆみ」について

本校の「あゆみ」は到達度で評価するようになっていきます。各教科の単元の基準に「到達」できた場合に「B…おおむね到達している」となります。到達基準に到達できていない場合は「C…努力を要する」となっています。その中でも、特によくできている場合のみ「A…十分到達している」となります。

「あゆみ」は、懇談時にお渡しいたします。その時に、お話をさせていただきます。聞きたい事などございましたらまとめておいてください。各ご家庭で、「あゆみ」をもとに1学期の学びを振り返ってみてください。

また、夏休みは、夏休みにしかできないことをしっかり行って下さい。よく遊び、よく学び、・・・とは言え、最初にしっかり計画を立てて休みを迎えましょう。途中何が起こるか分からないので、早目に余裕を持って毎日を過ごし、9月からの長い2学期に備えてしっかりこの夏休みに復習と2学期の学習の準備を行ってください。

「多くの人は、『自分は【運】が無い。【不幸だ】』と言うけれど、【幸運】は、しっかり準備している者に訪れるものです。準備をしても【不運】なことは、たくさんあります。しかし、【幸運】とは、やはりしっかり準備をして臨む者に訪れるものですから、自分の人生に【努力】という準備をしっかりと行って自分を磨いてください。勉強でも、スポーツでも、入試でも、大人になっても皆同じです。……………」

(マレーシア駐日大使の話～)

1学期の最後のお便りは、いつもこの言葉を使わせていただいています。大切な言葉だと思って行動するようにしています。この夏休みは、あゆみを見られて、苦手なところを放置しておくことのないように、しっかり練習して2学期へ向けての準備をしておいてください。

※ 「がんばれなつ休み」のワークを昨日配りましたが、今日「先生、もう全部丁寧にやりました。」と言う子がいました。驚きました。夏休みに入ってやるが無くなった時は、ぜひお家で何か与えてやってください。

※ 懇談時に「あさがお」や、その他の荷物を持って帰っていただきます。「あさがお」を持って帰る際には、大きなナイロン袋 (ごみ袋が良いと思います) が必要です。持ってきてください。

## 保護者の方～

- 学校から帰って、プリントの宿題をすませると、〇〇が「今日は、計算カードのひき算を10回する！」と言うので、「10回は大変よ！どうしたん？」と聞くと、「僕は、みんなよりタイムが遅いけえ、いっぱい練習せんといけん！自分で決めたんじゃけえ、10回がんばってやる！」と真剣に言うので、「じゃあ頑張ってみる？もし、しんどかったら無理せんでいいよ！」と言ったのですが、本当に机で一人でストップウォッチ片手に一生懸命頑張ってやっている姿に、我が子ながらびっくりしました。本人の中で目標を自分で立てて、それを達成しようとしている姿勢に私はとても「すごいなあ！」と思いながらその背中を見ていました。やりとげた後、少し二人でお話をしました。「今日は、すごく頑張ったね。すごいねえ！」と言うと、〇〇は、「タイムは、すごく速くはならなかった。」と言うので、「人と比べるんじゃなくて、〇〇の毎日こつこつやっている中で、少しでもタイムが速くなれば、それはすごい事なんだよ。だから、自分自身が頑張って努力する事が大事なんだから、人と比べなくていいよ！やった事は無駄になる事は一つもなくて、いつか絶対がんばってやった事が役に立つ時が来るからね。すごい！すごい！。」と言うと、ほっとした顔をしていました。でも、子どもの真剣な姿が見れて嬉しかったし、成長や我が子なりに色々と日々考えて行動している事が分かった時間が持てて、すごくいい時間でした。



子供への言葉のかけ方こそ「すごい！すごい！」です。子供同士、良い方向で刺激し合っているようです。「人と比べなくていいよ！」は、あらゆる事に必要です。目標を立てた自分と、今の自分自身を比べてほしいです。

- プール見学、途中からになりましたが、ちょうど蹴伸びからしている所で、そこからバタ足も出来ているのを見ることができました。よく頑張りました。感動して涙が出そうになりました。「先生にもほめてもらった。」と、嬉しそうに話してくれました。私もとても嬉しかったです。ありがとうございました。本人も私も、ひとつ目標達成です。



親も一緒に喜んでやれるなんて、子供も嬉しいことでしょう。「感動は心の扉を開く」と相田みつをさんも言っています。親や友達からの励ましや応援などの豊かな言葉がけが、子供の自己肯定感を高めることでしょうから、豊かなコミュニケーションが大切です。

- 計算カードの宿題を・・・嫌々やっていました。「わくわく」のお便りを読んで、これではダメだと思い、私や弟も一緒にすることで、ゲーム感覚で競争しながら楽しんでやりました。すると、いつもはすぐにやめたがるのですが、自分から「+-全部合わせてする！」と意欲的になりました。まだ1年生の1学期、出来るからと更に上を目指して勉強が嫌になるより、楽しんでやりながら「勉強は、楽しいんだ！」と思ってやる気になる方が大事だと改めて思いました。

- 「今日は、5回もトイレのスリッパを揃えたんじゃけえ！」と言ってました。「揃える度に先生に報告するの？」と驚きましたが、「やったら先生に言わんといけんのんよ。」と言うので、そうなのかなと納得しました。学校での様子と比べ、家では困ったちゃんな所がたくさんありますが、学校で頑張れることは、素晴らしいと思い、1年生の1学期を良い形で終われることを嬉しく思います。

プールでは、水が怖いのに、最後まで一生懸命頑張った子が何人もいました。その努力の過程も大いに評価したいと思います。「誰でも苦手な事は、あるものですよ。大事なのは、一生懸命頑張ることだよ。」と言い続けて来た1学期でした。みんなみんな本当によく頑張った1学期でした。